

第9回鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会 議事録（概要）

日時 令和5年（2023年）12月19日（火）10時00分から11時15分まで

場所 笛田リサイクルセンター 2階会議室

出席 橋詰会長、浅川委員、亀山委員、芝田委員、大道委員、保坂委員、奴田委員、波多辺委員、牧田委員、田子委員

（※橋詰会長、奴田委員、田子委員以外は、オンライン出席）

＜事務局＞

環境部 能條部長、不破次長

ごみ減量対策課 中澤担当課長、太田課長補佐、実方課長補佐、石井職員、奥村職員、園山職員

環境センター 月花担当課長

傍聴者 1名

議題 （1）臨時ごみ等の見直しについて
（2）戸別収集について

その他

議題 （1） 臨時ごみ等の見直しについて

事務局から資料1-1、1-2、1-3について説明を行い、臨時ごみ等の見直しについて審議を行いました。

牧田委員：パブリックコメントで寄せられた意見を見ますと、やはり変更点が大きいと感じますので、変更点について市民の皆様により一層の広報をしなければ、納得していただけるようにはならないと感じました。

浅川委員：先ほどの説明の中で、収集したごみを委託業者の施設で受け入れるという説明がありました。搬入先が変わることで今泉クリーンセンターなどに搬入される車両台数は削減され改善方向にいくかと思いますが、新たに搬入される委託業者の施設や周辺で問題が起きると、鎌倉市としても大変問題となるという懸念があり、十分注意する必要があるかと思いますが、その点に対する考え方を説明していただきたいです。

不破次長：市民の持込みを収集に切り替えることで、車両搬入台数は 25,000 台から約 4,000 台に減らせるという想定をしています。4,000 台のうち、特例措置による持込みは今泉クリーンセンターで引き続き受け付けをします。残りの委託車両台数については、持込みによる車両台数を減らした上で民間事業者の施設に運ぶこととなります。民間事業者施設の周辺には、影響がないように委託事業を進めていきたいと考えています。

橋詰会長：「不適切排出について」というコメントの件数が多く、中には同じ地区から意見が出ていると思うところがあります。その点はいかがでしょう。

不破次長：同じ地区でコメントをまとめていただいたところもございました。クリーンステーション排出に変更すると、クリーンステーションが溢れてしまうのではないかという意見でした。片付けや引っ越しで発生するごみで、燃やすごみやプラスチック類、カン・ビンなどの資源物については、計画的にクリーンステーションに排出していただくよう、案内してまいります。また、現行通りの排出のルールを守っていただくことも十分に周知を行い、クリーンステーションが溢れないようにしていきたいと思っています。万が一、不適切排出がされるような場合は、これまで通り内容物調査等を行い、個別に対応をしていきたいと思っています。計画的に排出できない緊急の引っ越しにつきましては、特例措置を設けて持込みを可能にするよう対応をして、クリーンステーションにごみが溢れないよう対策を取りたいと思っています。

芝田委員：非常に活発な意見が出されていると思いますが、この後回答はされますか。

不破次長：市の考え方を取りまとめて、公表をさせていただく予定でいます。

橋詰会長：特に意見がないようでしたら、臨時ごみ等の見直しにつきまして、事務局から答申をいただけないかというお話があります。資料 1-3「臨時ごみ等の見直しについて(案)」で説明されていることについて、審議会として妥当と考えるという内容での答申が想定されると思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

全員：了承

橋詰会長：付記すべき注意事項がありましたら、意見をお願いいたします。

牧田委員：市民の皆様に変更点や変更のメリットに関して、市として丁寧に説明を行うことを、明確にお書きいただきたいと思っています。

不破次長：市民の皆様への分かりやすい周知は必要だと思っています。広報かまぐらでは一面で特集を組み、説明していくことを考えています。また、広報紙だけではなく、SNS 等を使った周知も考えています。答申として市民への周知徹底という付記をしていただければ、市は対応してまいります。

橋詰会長：答申の特記事項として、市民への周知徹底についての意見をいただきましたがいかがでしょうか。

田子委員：先月 11 月に町内会でごみの説明会があり、40 名ほどが集まりました。ごみ問題

の説明や戸別収集などの説明をしていただいて、町内では説明会が非常に良かったという意見がありました。パブリックコメント等では限られた人の意見が多いと思いますので、町内会等での説明会を市から積極的に設けていけば、市民へ浸透していくと思います。以前の説明会では満足度が高いという意見が非常に多かったので、ありがたく思っています。

大道委員：粗大ごみの出し方について、特に若い人にも分かりやすいイラスト等で紹介されると良いと思いました。また、以前実際に粗大ごみを出した際、時間帯の指定がなく、2、3回確認を行ったことがあります。引き取っていただける時間帯が分かるとさらに安心して繋がるかもしれないと思いました。パブリックコメントでの不安はよく理解できますので、その点がクリアできれば問題ないと思います。

月花課長：まず、若い方への周知に関して、全ての市民の方にわかりやすいイラスト・写真等を活用したご案内を考えています。収集時間に関して、直ちに時間指定を実施することは難しい現状ではありますが、来年度から全面委託収集に切り替えるにあたりまして、ごみ収集の見える化というものを、現在検討しています。例えば、収集時間帯や収集ルート、収集した時間が排出された方にわかるようなシステムの導入等々です。先進的な事例もありますので、参考にしながら検討していきたいと考えています。

橋詰会長：パブリックコメントで不適切排出への懸念が具体的に示されていますので、その点には触れたいと思います。不適切排出で非常に苦労されている方への労いや感謝を入れるとともに、市へは一層工夫していただくということを審議会としても申し上げてはいかがかと思います。今までのところをまとめますと、説明会の開催やわかりやすいイラスト等を使用した広報、不適切排出への一層の対応というところが事項として挙げられているかと思いますが、具体的な文面が確定次第、皆様にお示ししたいと思います。

不破次長：皆様ありがとうございます。意見を整理いたしまして、会長と事務局で答申書案を作成し、各委員の皆様へ送付、了解をいただきたいと思っています。

議 題 (1) 戸別収集について

事務局から資料2-1、2-2、2-3について説明を行い、戸別収集について審議を行いました。

橋詰会長：資料2-2について、いつ議会で報告されましたか。

実方補佐：資料2-2の説明につきましては、12月13日の市民環境常任委員会で報告をしています。

大道委員：1万世帯規模で先行実施をするということですが、それはどの地域なのか説明していただきたいと思っています。

実方補佐：まず、今回先行的に戸別収集開始を予定している世帯数ですが、現在委託している事業者とヒアリングをしている中で、1万世帯規模であれば車両台数や人員を増やす必要はなく、今の体制で行えるということから、大体1万世帯という規模が適当だと判断しています。実施地区は検討段階でございます。ただ、その中でもスムーズに戸別収集が実施できるような地区やクリーンステーションにおいてトラブルが多い地区等の要素を考慮して、具体的なエリアを今後お示ししたいと考えています。

保坂委員：先ほどの臨時ごみ等の見直しの審議では、パブリックコメントにおいてクリーンステーションの管理に苦勞されている市民の方の不安が多くありました。戸別収集の開始は、臨時ごみ等の見直しに対する不安の解消が期待できる動きであると思います。戸別収集は少し先になるとは思いますが、臨時ごみ等の見直しと戸別収集をリンクさせて広報ができれば、住民の方の不安を和らげるのではないかと考えたのですが、市のお考えはいかがでしょうか。

不破次長：臨時ごみ等の見直しに対して、戸別収集は少し時間がかかってしまいますが、市民の皆様へ、臨時ごみ等の見直しのパブリックコメントに対する結果を公表する際には、具体的な内容まではお示しできませんが、今後戸別収集を検討し、解決ができる部分もあるというような市の考え方を示し、回答をしようと考えています。また、市民の皆様への説明会等では、少し具体性を持ってご説明をしたいと考えています。

保坂委員：また逆に、戸別収集の方針を市民の方に伝える際には、クリーンステーションに一時的にごみがあふれてしまうような心配をされている地域に届くような説明を同時にしていくと、より戸別収集を歓迎してくれる雰囲気が出てくるのではないかと思います。

牧田委員：経費の算出について、経費増に繋がる要素やメリットについてご説明がありましたが、来年2024年問題もあり、今後経費増が見込まれる中、記載のタイムスケジュールで想定している委託料で賄えるのか、戸別収集を開始する時期の状況下での経費をイメージしていただいた方が良いと思います。また、委託料を最低限に抑えるということは、収集業者の働き方にもつながると思いますので、適正な委託料を支払い、なおかつ戸別収集のメリットがあることがとても大事になると思います。経費については、今後もさらに厳しい状況になるのではないかと考えられますので、経費の算定のお考えを伺いたいと思います。

実方補佐：収集経費につきましては、収集運搬事業者とやり取りをさせていただく中で、向こう何年間かの見積書をいただいています。その中では、経済状況等を反映させており、特に人件費が年々上がっていく形で提示を受けています。人件費については、決して無理に抑制することがないよう、市としても考えたいと思っています。一方で戸別収集を継続することによって、ノウハウが蓄積されていくと考え

ていまして、その部分での経費抑制は今後も続けていく形で、限られた経費の中で最大限の効果を出せるようにしたいと考えています。

牧田委員：収集事業者があつて、戸別収集の円滑な実施が実現可能になると思いますので、十分に配慮しながら計画を作っていただければと思います。

浅川委員：方針素案5ページ、業者選定についての箇所では、戸別収集を円滑に進めるための観点から記載がありますが、ごみの収集作業にあたる業者の方は、戸別収集に切り替わると、市民の皆様と接する機会が今まで以上に増えると思います。そのような中で、実際の現場で収集作業に当たる業者の意識・意欲が今まで以上に求められ、そこが市民の皆様の戸別収集に対する評価にも繋がっていくと思いますが、市のお考えがあれば聞かせていただきたいです。

実方補佐：収集事業者を選定するに当たり、一定のサービスレベルを確保するために、プロポーザル方式という、簡単なプレゼンテーションを実施した上での事業者選定をしたいと考えています。余りある価値が提供できる戸別収集を検討している中で、プロポーザル方式の評価項目として、収集以外にも、見守り・防犯・道路環境整備を入れ込み、その部分についても対応可能な事業者を選定したいと考えています。市民と接するにあたっての教育体制が組織に十分に作られているかという点も含め、評価したいと考えています。

橋詰会長：経費について、資料2-2、5ページの図ですが、実質負担増が年間で7,000万円だと記載してあります。予算が増加することとなるので、いわば市民の税金からプラスで出すというふうに理解し、7,000万円を鎌倉の人口で割ると1人当たり、400円ぐらいかと思います。このような言い方がいいかは別問題ですが、わかりやすい言い方をすると、400円でサービスを買うこととなります。個人的な意見となりますが、数値としての意味合いは、数百円で福祉やごみの減量化などの価値を提供できるというような伝え方をするなど、工夫の余地がまだありそうな気がします。

橋詰会長：ここまでの審議会の議論を振り返りますと、審議会全体としては、事務局が提案されているような形での戸別収集を進めて良いというふうに理解していますが、事務局として何か具体的な進め方、さらにご説明ありますでしょうか。

中澤課長：方針素案だけで、市民の皆様からご意見をいただくことになると、具体的にイメージしづらいと思っています。そのため、対象品目や対象世帯を含めて、方針よりも実施計画に近いような内容をご紹介します、パブリックコメントを募集していきたいと思っています。パブリックコメントの実施にあたっては、短めの動画やSNSを用いて複数の媒体で発信を行い、様々なご意見をいただきたいと考えています。ポジティブな意見もネガティブな意見も含めて、両方いただけるような形で、よりわかりやすく、イメージしやすい内容で、パブリックコメントをやりたいと考えています。

橋詰会長：今日の意見も踏まえまして、若干説明資料が変わると思いますが、当面の進め方のイメージをご説明いただけますか。

中澤課長：方針素案については、過去既に2回ほど委員の皆様にも審議をしていただいています。加えて、今日いただいたご意見も含め、改めて事務局で見直しをしまして、反映した素案を会長と改めて調整させていただきます。その後、パブリックコメントを実施していきたいと思っています。先ほどN月という話をいたしました。資料のようなスケジュール感で、できるだけ速やかに進めていきたいと考えています。

そ の 他 事務局から今後の審議会についての説明を行いました。

不破次長：現委員の任期中における審議会の開催が、本日にて最後となります。2年間の任期におかれまして、本市の安定的なごみ処理体制の構築に向けて、多大なるご尽力を賜りまして誠にありがとうございました。現在、委員の委嘱手続きを進めています。継続して委員をお引き受けいただける皆様におかれましては、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

橋詰会長：今回が今期の最終回ということでございます。引き続き審議に加わる方もいらっしゃると思いますので、鎌倉市のごみの減量施策等がさらに進むことを期待しているところでございます。これをもちまして、第9回鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会を閉会いたします。